

このまちの100年

「一宮」

一宮は尾張国一宮・真清田神社の門前町として発達しました。古くから繊維産業が発展し、朝から喫茶店を利用する労働者も多いことから始まったといわれる『モーニングサービス』は、現在では中京圏の文化となっています。



昭和10年頃

江戸時代に始まる三八市。真清田神社の門前に市が立ち、買い物客が集まった



昭和10年頃

繊維の街として発展した愛知県一宮市。大正10年に市制を施行した



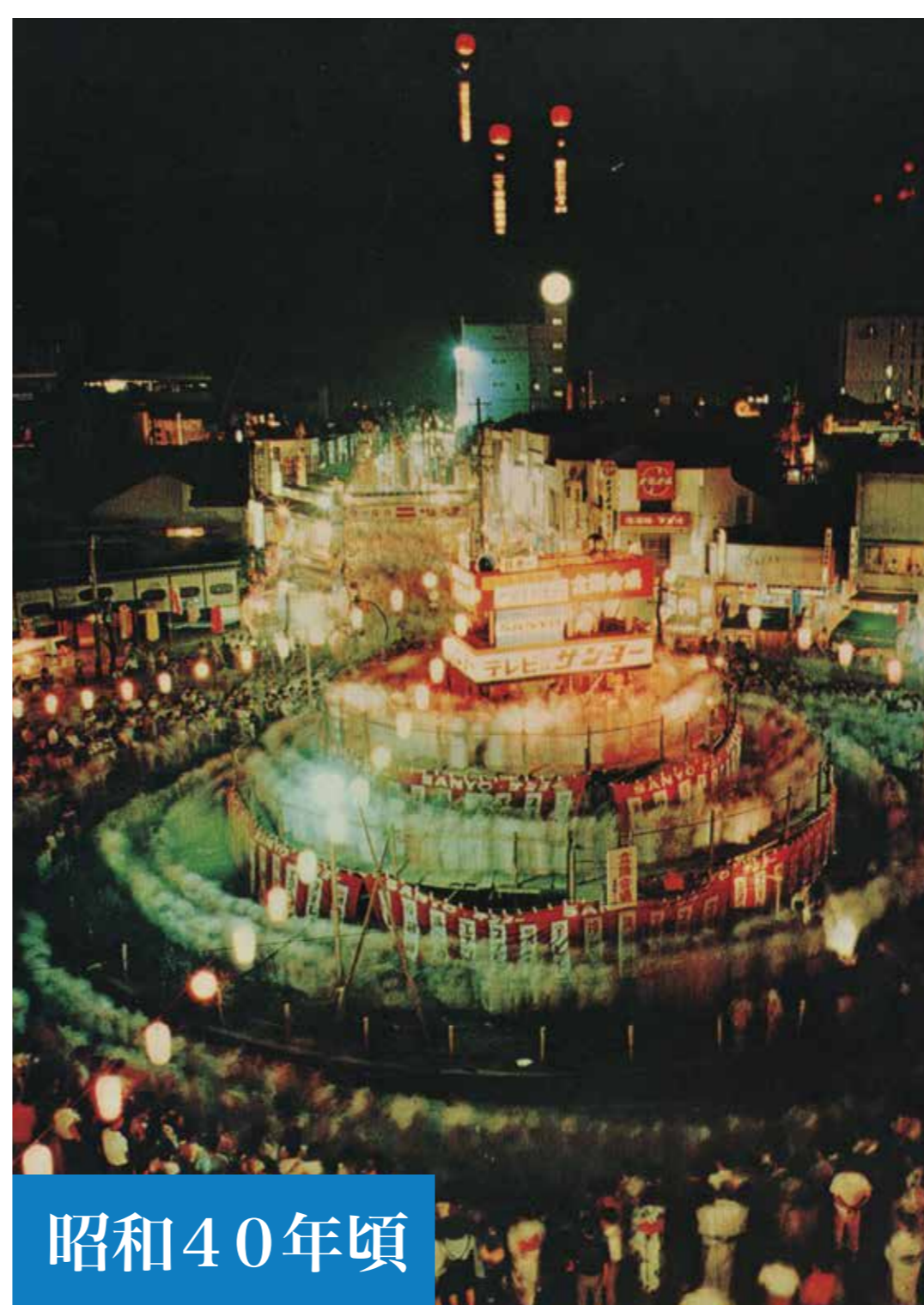
昭和10年頃

昭和20年の一宮空襲で焼失する前の真清田神社



昭和40年頃

東海道本線の尾張一宮駅前の様子



昭和40年頃

昭和31年から始まった一宮七夕まつりでは、盆踊りも開催されている



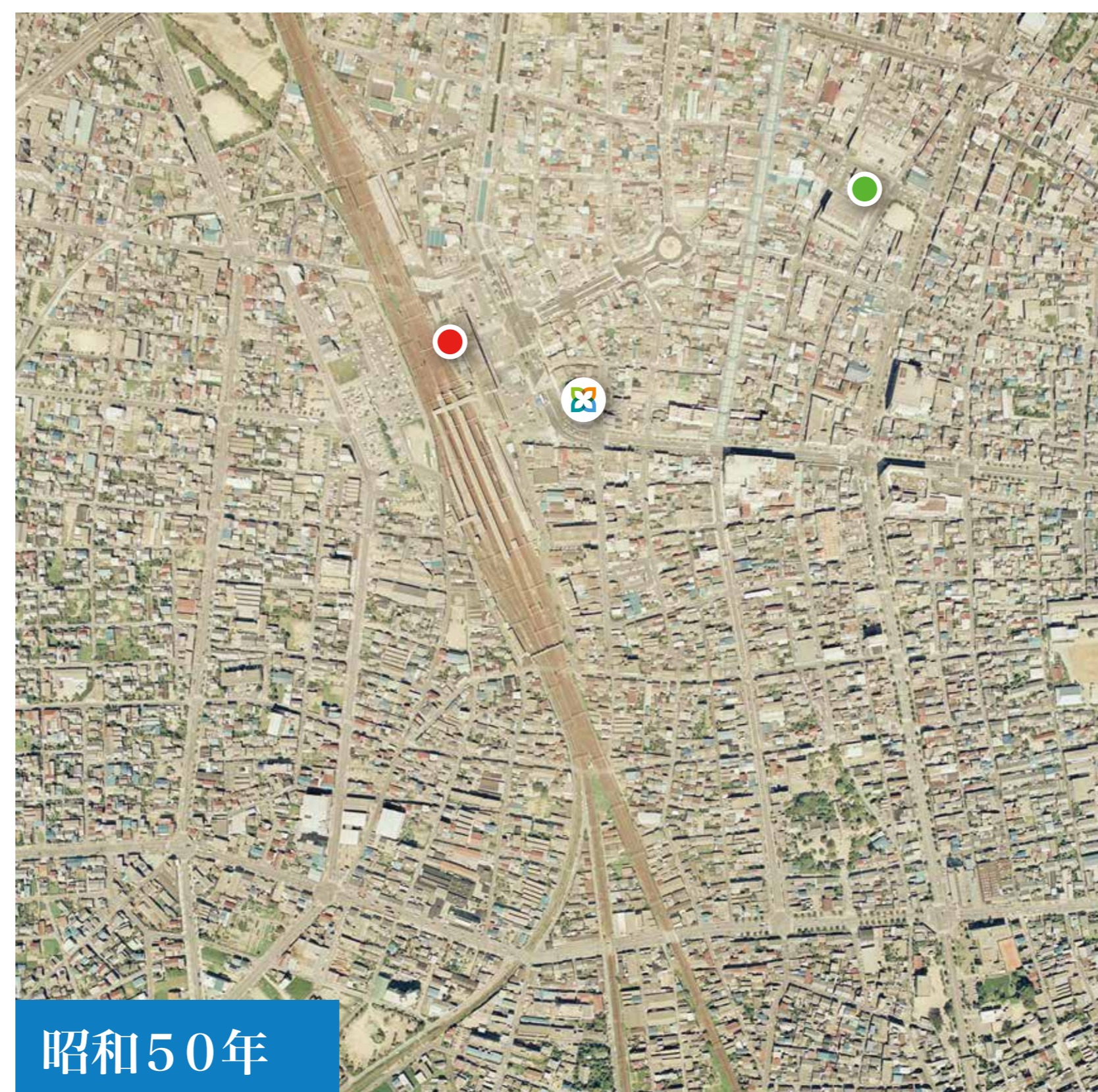
昭和40年頃

昭和39年に誕生した、名神高速道路の一宮インターチェンジ付近の空撮

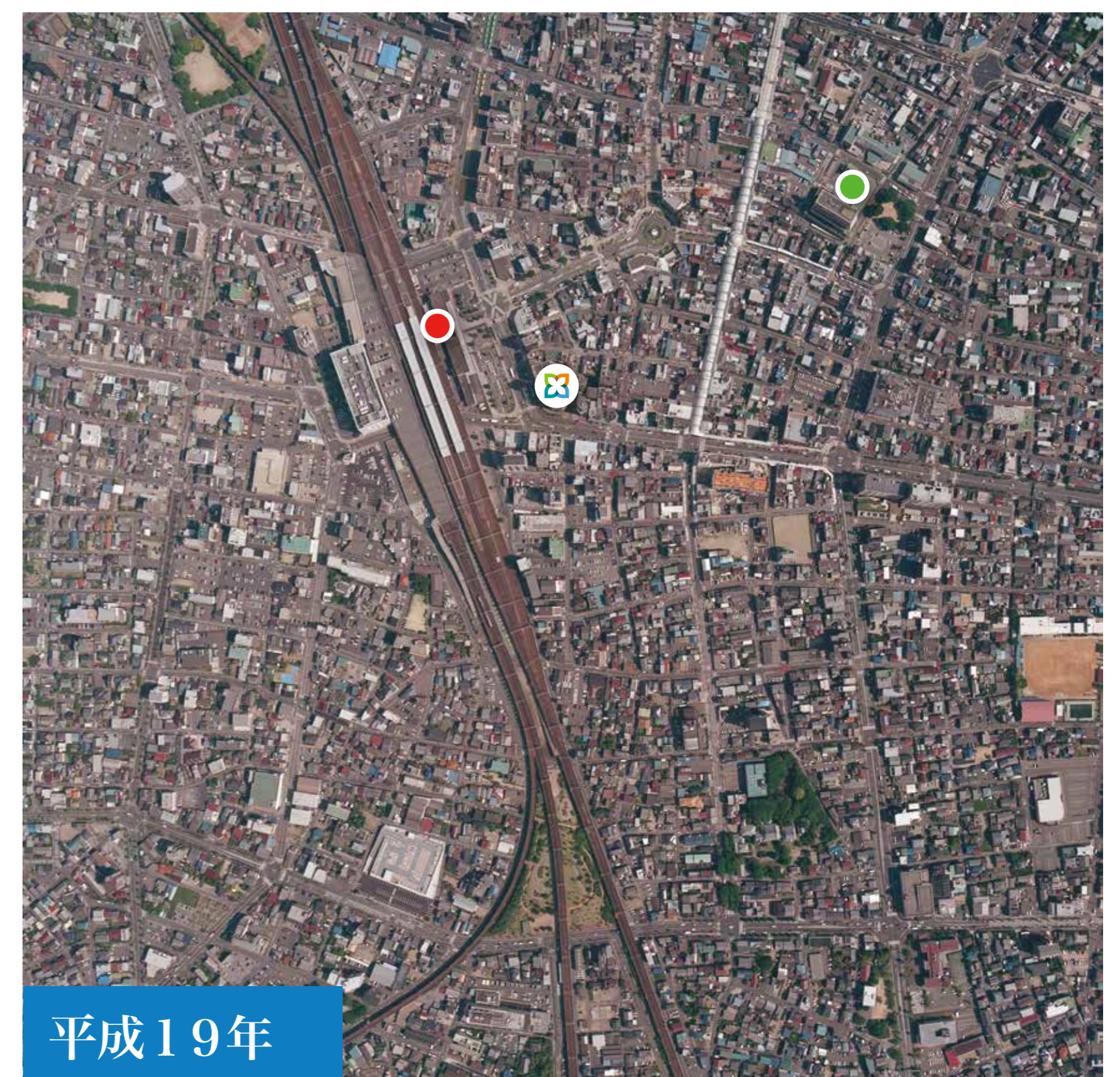
上空からみた一宮エリア



昭和21年



昭和50年



平成19年

: 現在地
 : 一宮市役所 (旧庁舎) : 尾張一宮駅/尾張一宮駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ